同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和元年(平成 31 年)度には、森田が化学科長および化学専攻長を務め、学科委員の叶深教授とともに化学教室および化学専攻の運営に当たりました。

同年5月1日には、量子化学研究室の藤井朱鳥准教授が教授に昇進され、引き続き同研究室を 主宰されました。一方、長年化学教室にて研究・教育に非常に大きな貢献をされた無機化学研 究室の飛田博実教授と錯体化学研究室の山下正廣教授が令和2年3月31付けで定年退職され ました。また、化学専攻の兼担で多元物質科学研究所所属の上田潔教授と及川英俊教授が同年 度末に定年退職されました。

その他にも多くの方が着任、異動されました。同年度に採用、昇任、異動、退職された方々は 以下の通りです。

教授 藤井 朱鳥 5月1日付昇任(量子化学)

助教 石丸 泰寛 5月1日付異動 工学研究科へ

助教 加治 拓哉 5月1日付採用(有機化学第一)

助教 奥津 賢一 6月1日付採用(放射化学)

助教 岡 壽崇 6月30日付異動 高度教養教育・学生支援機構へ

助教 葛 愛民 7月1日付採用(有機物理化学)

助教 山下 琢磨 9月1日付採用(放射化学)

助教 中野 元善 9月30日付退職

助教 李 静 10月1日付採用(有機分析化学)

助教 Sataisha Kayal 10月1日付採用(反応有機化学)

助教 山下 琢磨 10月1日付異動 高度教養教育・学生支援機構へ

講師 森 直紀 令和2年1月1日付採用(有機分析化学)

助教 的場 博亮 令和 2 年 1 月 1 日付採用(有機分析化学)

教授 飛田 博実 令和 2 年 3 月 31 日付退職

教授 山下 正廣 令和 2 年 3 月 31 日付退職

助教 渡辺 孝仁 令和 2 年 3 月 31 日付退職

助教 加藤 恵一 令和 2 年 3 月 31 日付退職

教授 上田 潔 令和2年3月31日付退職

教授 及川 英俊 令和 2 年 3 月 31 日付退職

准教授 大庭 裕範 令和 2 年 3 月 31 日付退職

化学専攻事務室

室長 芳賀 智一 7月1日付異動 電子光理学研究センター事務室へ

室長 斉藤 康博 7月1日付着任 入試課入試実施係より

係長 齋藤 康博 10月1日付異動 理学_大学院教務係

主任 斉藤 佳名 7月1日付異動 情報科学_総務係へ

主任 加藤 真実 10月1日付異動 理学_教務企画係

主任 齋藤 千春 10月1日付異動 理学_教務企画係

主任 丹藤 英樹 10月1日付異動 理学_用度第一係

主任 田中 宏子 10月1日付異動 理学_用度第二係

係員 村上 真惟 7月1日付着任 薬学部総務係より

係員 村上 真惟 10月1日付異動 理学_研究支援係

係員 鎌田 礼子 10月1日付異動 理学_施設管理係

専攻長秘書 高岡 朋子 6月1日付採用

専攻長秘書 長田 美希 6月30日付退職

専攻長秘書 大内 典子 令和2年2月1日付採用

化学専攻事務室は理学研究科の事務体制改革に伴って、令和元年 11 月 21 日より理学研究科事務に統合されました。

数年前より理学部・理学研究科で始まった保護者交流会が6月1日に開催されました。当日には化学の学生さんの多くの保護者の方たちにお集まりいただき、ご子息・ご令息が勉学に励む本キャンパスと化学教室の様子をご覧いただきました。また7月30から31日にはオープンキャンパスが開催され、2,000名を超える多くの高校生や関係者が化学教室を訪問されました。

8月27日から28日には、本学化学系の部局の協力で恒例のサマースクールを開催いたしました。大学院生が自ら国際会議を運営する貴重な経験をもち、外国より6名の大学院生を招聘して交流を深めました。化学教室の国際化の試みとしては、引き続き国際学士コース(AMC)も運営しております。

本年度には本化学教室名誉教授の平間正博先生が学士院賞を受賞され、8月25日にはその祝賀会も開催いたしました。大村智先生をはじめとするご来賓や平間研究室卒業生にもお集まりいただき、先生の功績と名誉をお祝い致しました。

令和 2 年 1 月 9 日には一般雑誌会で、原田宣之先生をお招きし、本教室 OB で天然物化学の大家である故中西香璽先生の追悼講演会を開催いたしました。若い学生さんにも偉大な OB の先生の業績を紹介し、名誉教授の先生方にもお集まりいただきました。

1月10日から11日には外部評価が開催され、大塩寛紀教授(筑波大)、鈴木啓介教授(東工大)、川合真紀所長(分子研)の3氏より、化学教室の教育・研究・運営に関して非常に貴重なご意見を伺うことができました。その提言を今後の運営に生かしていく所存です。

以上、化学教室の近況をご報告申し上げました。今後も化学教室の発展に向け、構成員一丸となって邁進していく所存ですので、引き続き同窓会の皆様のご協力とご支援を賜りますと幸いに存じます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

令和 3 年 6 月 12 日